

5月11日（木）、6年1組で道徳の努力点公開授業が行われました。

題材は「礼儀正しいふるまい」です。ねらいは、電車の優先席について、「話す・聞く」活動を通して、いろいろな考えを理解しようとするができるようにすることです。

初めに、「優先席」について確認をしました。児童は、お年寄りや妊婦さんが座る席という認識があることが分かりました。次に、教師が「優先席が空いています。あなたは座りますか。座りませんか」と、質問しました。そして、「座る」の人は赤色のカード、「座らない」の人は青色のカードを、タブレットの共有機能を使って示させました。すると、多くの児童が青色のカードで「座らない」意思を示しました。



【タブレットで意思を示す児童】

中には、画面を見て、青色のカードを選んだ児童もいると考えられます。そこで、教師が、「大事なものは、理由を言うことができることです」と伝えました。すると、赤色のカードが一つ出てきました。そして、モニターの画面を消し、様子を見ることにしました。迷っている児童もいたので、「迷っている」の黄色のカードを示すようにしました。

児童の意思が出そろったところで、三つの立場に分かれて、意見を言ったり質問をしたりする活動に入りました。分かれてみると、多くの児童が青色「座らない」で、赤色「座る」が二人、黄色「迷っている」が二人でした。

討論を始める前に、話し合いのルールを確認しました。今回の話し合いのルールは、次の3点です。

- 1、手を挙げてから発言すること
- 2、話は最後まで聞くこと
- 3、よい意見（「なるほど」と思った、共感できる など）はメモを取ること



【三つに分かれて討論をする様子】

そして、それぞれの立場で、意見を言ったり、質問をしたりして討論をしました。途中、「赤色に変わってもいいですか」と、立場を変える児童も出てきました。論点がずれたときは教師が修正しました。児童からは、「体の不自由な人が来るとは限らないので座ってもよい。来たら譲ればよい」や、「初めから座らない方がよい」などといった意見が出ました。

児童は、「話す・聞く」活動を通して、いろいろな考えに触れ、それぞれの立場を理解することができました。

話し合う際の座席配置は様々で、今回の授業では、立場で場所を分かれての話し合いでした。近くに同じ意見の友達がいるので、安心して意見を述べることができます。また、気軽に相談もできます。その際にも互いに「話す・聞く」活動ができます。今後も座席配置を工夫して、「話すこと・聞くこと」の力を伸ばしていきたいです。